

★全線で工事を実施しています。



定点写真-① 轟地先



定点写真-② 永平寺IC



全体の展望



下部工の施工状況



写真-③:轟地区

・橋梁下部の施工状況
 轟1号橋(仮称)の橋台箇所足場に組まれ、橋台部の鉄筋を組み立てています。

全体の展望

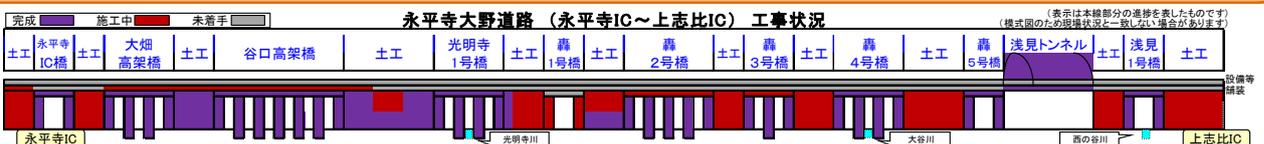


架設状況



写真-④:轟地区

・橋梁上部の施工状況
 轟2号橋(仮称)の上部工架設に着手しました。



①永平寺大野道路の概要

●中部縦貫自動車道

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通り、福井市に至る約160kmの高規格幹線道路です。北陸地方と近畿・中部・関東の広域的、一体的発展に資するため、北陸自動車道・東海北陸自動車道・中央自動車道長野線を相互に連絡して、広域交通の円滑化を図るとともに、文化・観光資源を活かした、地域振興や産業経済の発展を支援することを目的としています。



●永平寺大野道路

永平寺大野道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、交通渋滞の緩和、高度医療施設へのアクセス向上、災害時における安定した交通の確保、文化・地域資源を活かした沿線地域の活性化を図ること等を目的としています。



②工事進捗状況



上空からの展望



脆弱箇所の切土面



写真② 轟東地区

・切土工事の状況

切土箇所において、新たに脆弱箇所が現れたため、施工方法等に注意を払い、工事を進めています。

全体の展望



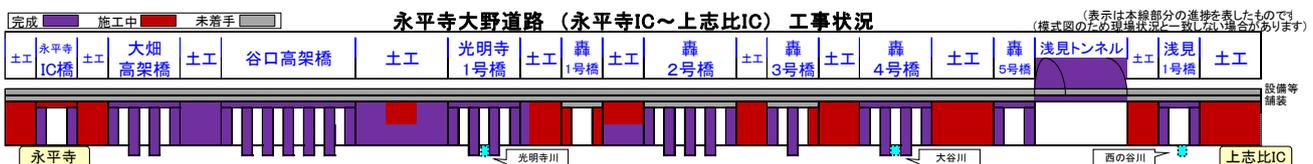
補強土壁施工状況



写真① 永平寺IC

・永平寺IC施工状況

盛土部の補強土壁の施工が進んでいます。

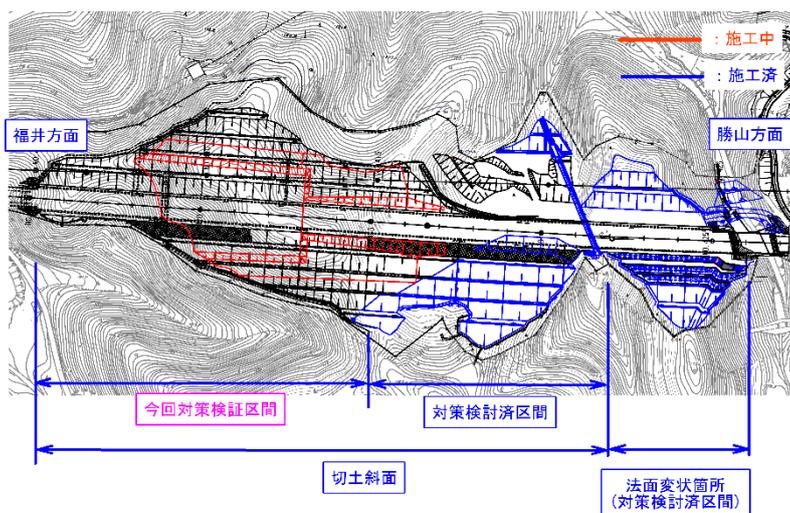


当初想定と異なる地質区分箇所で施工方法を検討

～轟東地区切土斜面にて～

- 地山の脆弱な区間が確認され、施工方法の検討が必要となりました。
- 学識経験者による現地検討会を実施し、指導・助言をいただきました。
- 施工方法等の検討を行っております。

轟東地区切土斜面の状況



現地検討会の状況



(学識経験者の主な指導・助言)

- 変質帯については、できるだけ水に触れないための対策を行ったほうがよい。